



写真 1：面接中の様子

[Vol.14](#) で紹介した通り、ナミビアでは、進級・卒業のために生徒は年末に試験を受ける必要があります。ここで一定の成績を収めればこれらを実現することができます。

そこで、日本語クラスも一年間の集大成ということで 11 月に進級試験を実施しました。形式は、来日時を想定して、日本語のみの面接です（写真 1）。また、緊張感をもって隅々まで復習して来てもらうために質問をすべて点数化し、100 点満点中 50 点以上で合格、達しなかった場合は 2025 年のクラスには在籍できないといった本来の進級試験同様、落第を設けました。ただ何もヒントがないと対策できないため、範囲をこの一年間で学んだことすべてとし、右の図 1 のように本番の質問事項と点数の一覧を渡して何度も練習を繰り返しました。

質問内容は、一年間事あるごとに繰り返してきた自己紹介や来日してしたいこと、ひらがなの発音、数字の数え上げ、時刻読み、5W1H（どこで、いつ、誰が、何を、どうした）を用いた英文の和訳、漢字の読解、ランダムに引いたイラストの状況の日本語での説明（写真 2）のほか、少しでも和やかな雰囲気にしたかったため、買い物シミュレーションとお金の勘定（写真 3）、

About interview test				
I. What you need that day.				
☐ Attendance card. ☐ Japanese money.				
II. The questions I'll ask you and evaluations in scoring.				
No	Content	Japanese	English	Point
1	Behavior & Name	「Shi tu re i shi ma su」 Ojigi 「Kaban ha yoko no tsukue ni oite bokuni syusseki card wo hatashite kudasai. Sosite isu no yoko ni otai kudasai.」 Isu no yo ko ni ta tsu 「O na ma e wo o shi e te ku da sa i」 「Go tya ku se ki ku da sa i」	「May I come in?」 Bow 「Would you put your bag on the table next to your seat and hand your attendance card to me? Please stand next to your seat.」 Stand next to the seat. 「Would you tell me your name?」 「Take a seat, please.」	2
2	Self-introduction	「Anata no toshi ha ikutu desuka?」 「Anata no tanjyo-bi ha itsu desuka?」 「Anata no buzoku ha nandesuka?」 「Anata no syumi ha nandesuka?」 「Anatano yume ha nandesuka?」	「How old are you?」 「When is your birthday?」 「What is your tribe?」 「What is your favorite thing?」 「What is your dream?」	1 1 1 1 1
3	Confirming your knowledge	「Konohi ha nan nen nan gatsu nan nichi nan yo-bi desuka?」 「Kore ha nanji nanhun desuka?」 「Ichi kara jyu- made kazoete kudasai」 「Kore ha nani iro desuka?」 「Kore ha nan to yomimasuka?」	「What are the year, month, date and day of this day?」 (I'll write something about year, month, date and day in a paper, so answer them in Japanese.) 「What time is this?」 (I'll write something about time in a paper, so answer it in Japanese.) 「Would you count from 1 to 10 in order?」 「What color is this?」 (I'll point out 2 colors in a paper, so answer it in Japanese.) 「Would you pronounce this HIRAGANA?」	1 1 2 1×2 1×3

図 1：面接質問事項と点数一覧

(Illustration B)



写真2：イラスト例



写真3：お金の勘定



写真4：手作りすごろく

すごろくでイベントマス上に書かれている内容を読解し、実行する(写真4)、道案内する、指示通りにダンスする、懐かしい紅白旗上げゲーム等これまでクラスで取り組んできたゲームもほぼほぼすべて取り入れ、てんこ盛り盛りで試験を行いました。

彼女たちはこれまでに何度も日本の高校生と交流を重ね、その度に言葉が上手く通じなかったり、思うように伝えられなかったりと歯がゆい思いを味わってきました。その気持ちを払拭する意味も込めて今回は真剣に準備してきて欲しいと伝えたところ、ほぼ完璧に仕上げてきており、結果レギュラーメンバーの6名全員が合格することができました(写真5)。

また、自分がずっと面接官をやるのも味気ないなと思ったため、写真1の通り、先に合格した子たちにまだ受けていない子たちの勉強のサポートと面接官役をやってもらいました。するとこの光景を見ても驚きましたが、サポート側の子たちがこれから受験する子たちからの質問すべてに完璧に答えているのです。これは教師をやっていると分かりますが、教える側が相当理解していないとできる芸当ではありません。満点に近い成績で合格したことにも納得です。このレベルまで仕上げてきたことに感服しました。



写真5：合格!!!!



写真6：慰労会の様子

試験が終わった別日には、メンバーたったの希望で一年間お疲れ様の意味を込めた慰労会を行いました(写真6)。これまでの食事といえば一緒に何かを調理していましたが、本人たちが大好きなピザやハンバーガーを食べたいということで初めて行きつけのレストランで行いました。またここでも驚いたことが、彼女たちはまったくと言っていい程サラダには手を伸ばしません。終始一貫して、ピザとポテトをコーラで流し込むアメリカンスタイルでした。(え、胃もたれしないの?? 10代だから? ここだけの話、

オジサンは少し辛かったからピザを食べてるフリしてサラダばかり食べてたよ。その細い体のどこに入っていくんでしょうか？無限の胃袋羨ましいなあ〜。。) さらにこれには飽き足らず、ハンバーガーを2個注文する子もいて、「え、2個も食べられるの？」と尋ねると『こっちは今日の方で、こっちはお持ち帰り分！』とちゃっかりテイクアウトまで用意しています。すると他の子たちもこぞって『先生、いいですか(´ っ・ω・)っ？』なんて君たちに真っ直ぐな視線を向けられたら断れるわけないでしょう。「もう、今日だけだぞ。」ということで全員テイクアウト分まで用意してもらった伝票には、今までに見たことのない数字が(´ ⅴ ´)。でもいいんです。一年間頑張ったもんね。年をとると一生懸命頑張った子たちの笑顔を見る方が嬉しいのです。ちなみに持ち帰った分は皆兄弟で分けたとのこと。優しいね。

この最終試験ですが、ゲーム要素があり、漢字も小学校低学年のレベルとはいえ、範囲がかなり広く、初学者には相当難しかったと思います。それでも本人たちの頑張りのお陰で、2025 年のクラスではひらがなにローマ字を併記する必要がなくなり、日本語でやり取りできる場面が格段に増えました。自分にもう少し日本語教育に関する知識・ノウハウがあれば彼女たちの能力をもっと伸ばせていたのですが、そこは彼女たちの真面目さに救われましたね。後は“来日したい”という彼女らの夢を叶えるために 2025 年のクラスと並行してこちらでできることをやるのみです。現在、日本国内では外国人による治安悪化が随所で問題視されていますが、日本から遠く離れた所で『日本が好き』と言ってくれる生徒たちに巡り合えて、本当に幸せ者だなとつくづく感じます。赴任最後の年のクラスはもっともっと楽しくなるように邁進します。一年間、本当にお疲れ様(*^~*)。

AFRICAN SAFARI

Vol.5

今回も二種類の野生動物を紹介します。

《イボイノシシ》

イノシシといえば、日本では作物を荒らす害獣として忌み嫌われていますが、写真はイボイノシシといってアフリカにのみ生息している種です。日本のイノシシと見た目で異なる部分は、牙の長さで顔のイボの有無です。また昼行性であるため、サバンナ等では比較的簡単に見つかりますが、警戒心が強く、こちらの存在に気付くとすぐに逃げてしまいます。そのため、顔のイボの接写写真は撮れませんでした…。



《ミーアキャット》

日本でもペットショップや動物園ではたまに見ますが、野生で生息しているのはアフリカのみです。社会性が高く、群れを作って生活し、写真のように後ろ足で立ち上がる仕草が特徴的です。普通、野生のものは警戒心が強く、イノシシ同様、人を見つけると逃げていくのですが、野生でも四六時中人が近くで生活すると、人慣れして逃げなくなるとのこと。しょっちゅう穴を掘っては、昆虫や小動物を探しています。



次回：番外編、「砂漠の歩き方」について紹介します！